

大阪市立義務教育学校生野未来学園
令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は令和4年4月に小中5校が再編され、大阪市初の義務教育学校として新たに開校した。今年度より新たに小学校1校が加わり、より充実した教育活動の実践に向けて挑戦を続けている。本校の特色の一つであるIKUNO未来科は年度を追うごとに内容も充実され、「教科横断的な視点を持った教育活動」「教育課程の編成」「地域と連携し、教育活動に必要な人材・資源の発掘」の3つについて、9年間を通した学びが可能な義務教育学校の強みを生かしたカリキュラムマネジメントを進めている。また、本校の課題である学力の向上に向けても、9年間で系統的な学びが実践できるよう、基礎学力の充実に重点を置き、各学年での達成目標を明確化した。加えて、教科間の連携を更に充実させるとともに、ICTを活用した効率的な学習方法をさらに深化させるなど、より効果的な授業の構築を目指すべく、大阪市教育局基本計画の下、取り組みを進めていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・異学年交流や少人数によるグループ活動をより多く取り入れて、集団における自分の個性や良さを再認識することにより、校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対して、肯定的な回答する児童・生徒の割合を88%以上にする。(R7:86.4%)
- ・9年間を通したIKUNO未来科の取り組みを着実に実施していくことにより、校内調査における「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する児童・生徒の割合を87%以上にする。(R7:未調査)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査及び中学生チャレンジテストにおける国語の平均正答率の対全国比・対府比を、6年生および9年生において1.00にする。(R7:6年生0.98 9年生0.89)
- ・小学校学力経年調査及び中学生チャレンジテストにおける算数・数学の平均正答率の対全国比・対府比を、6年生において1.00、9年生において0.92にする。(R7:6年生1.02 9年生0.88)
- ・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。《前期課程》(R7:77.4%)
- ・大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する9年生の割合(4技能)を40%以上にする。《後期課程》(R7:38.2%)
- ・校内調査において、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童・生徒の割合を88%以上にする。(R7:未調査)
- ・校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童・生徒の割合を87%以上にする。(R7:85.3%)

【学びを支える教育環境の充実】

- ・「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を80%以上にする。(R7:未調査)
- ・時間外勤務時間について、累計平均時間を前期課程では22時間以下、後期課程では37時間以下にする。(R7:前期課程 25時間 34分 後期課程 40時間 44分)
- ・大学等と連携し、教職員の資質向上のため外部講師を招き研修会を開く。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

◎ 大阪府教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

《前期課程》

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。(R7:80.7%)
- ・小学校学力経年調査における「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。(R7:未調査)

《後期課程》

- ・年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を83.3%以上にする。(R7:83.1)
- ・年度目標アンケートにおける「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を60%以上にする。(R7:未調査)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

◎ 大阪府教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

《前期課程》

- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

対全国比	R4	R5	R6	R7	R8
令和7年度6年生	0.88	0.92	0.95	0.98	
令和8年度6年生		0.89	0.93	0.98	
令和8年度5年生			0.78	0.96	
令和8年度4年生				0.88	

- ・小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

対全国比	R4	R5	R6	R7	R8
令和7年度6年生	0.88	1.00	1.04	1.02	
令和8年度6年生		1.00	1.00	0.95	
令和8年度5年生			0.83	0.99	
令和8年度4年生				0.87	

《後期課程》

- ・中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。

対府比	R5	R6	R7	R8
令和7年度9年生	0.91	0.91	0.89	
令和8年度9年生		0.88	0.98	
令和8年度8年生			0.98	

- ・中学生チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。

対府比	R5	R6	R7	R8
令和7年度9年生	0.99	0.88	0.88	
令和8年度9年生		0.83	0.83	
令和8年度8年生			0.79	

◎ 校内目標

- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 77.5%以上にする。(R7:77.4%)
- ・大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合 (4 技能)を 38.3%以上にする。(R7:38.2%)
- ・校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童・生徒の割合を 86%以上にする。(R7:未調査)
- ・校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童・生徒の割合を 85%以上にする。(R7:85.3%)

【学びを支える教育環境の充実】

◎ 大阪市教育局振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

≪前期課程≫

- ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。（R7:未調査）
- ・時間外勤務時間について、累計平均時間を25時間以下にする。（R7:25時間34分）

≪後期課程≫

- ・年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を60%以上にする。（R7:未調査）
- ・時間外勤務時間について、累計平均時間を40時間以下にする。（R7:40時間44分）

◎校内目標

- ・大学等と連携し、教職員の資質向上のため外部講師を招き研修会を開く。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

大阪市立義務教育学校生野未来学園
令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【安全・安心な教育の推進】 ≪前期課程≫大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標 ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 81%以上にする。(R7:80.7%) ・小学校学力経年調査における「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 60%以上にする。(R7:未調査) ≪後期課程≫大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標 ・年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を83.3%以上にする。(R7:83.1) ・年度目標アンケートにおける「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を60%以上にする。(R7:未調査)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向Ⅰ、安全安心な教育環境の推進】生活指導部 いじめを許さない仲間づくりを進め、互いを認め合い、支え合う集団を育成する。 指標 校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」の項目に肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向Ⅰ、安全安心な教育環境の推進】生活指導部 児童・生徒がお互いに交流する場を積極的に設定し、上級生が主体となって活動の担い手として動き、下級生を優しく導く中で、学校生活における安心感と生徒間の信頼関係を醸成する。また、意欲的に取り組める活動も積極的に設定し、活動する中で自分の良さを再認識できるように促す。 指標 1年～9年での異学年交流を年3回実施する。また、日々の活動の中で、異学年での交流を行う場面を設定する。	

取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】 研究部 自分で進路の可能性を広げられるように体験を通した探究的な学習活動を多く設定し、キャリア教育の充実に積極的に取り組む。 指標 IKUNO 未来科の学習活動を、全学年において年間指導計画に基づき実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立義務教育学校生野未来学園
令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ≪前期課程≫大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標 ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 77.5%以上にする。(R7:77.4%) ≪後期課程≫大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標 ・中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。 ・中学生チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。 ・大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 38.3%以上にする。(R7:38.2%) ≪校内目標共通≫ ・校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童・生徒の割合を 86%以上にする。(R7:未実施) ・校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童・生徒の割合を 85%以上にする。(R7:85.3%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 教務部 TT による指導や習熟度別少人数学習を取り入れ、きめ細やかな指導をすることで、児童・生徒の学習意欲を引き出すとともに、理解しやすい環境づくりに努める。 指標 校内調査における「学校の授業はよく分かりますか」の質問に対して肯定的な回答をする児童・生徒の割合を 88%以上にする。(R7:88%)	

取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 研究部 校内研修や研究授業、メンター研修を計画・実施し、教員個々の指導力の向上に取り組む。	
指標 授業を担当する教員が年間1回以上、研究授業や公開授業に取り組み、前期課程と後期課程の教員が相互に授業を参観できる機会を学期に1回設定する。	
取組内容③【基本的な方向 5、健やかな体の育成】 体育科主任 体育の授業や学校行事において、児童・生徒が前向きに運動に取り組める環境づくりに努める。	
指標 運動会や体育大会、その他体育的行事を学期ごとに企画・実践する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立義務教育学校生野未来学園
令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ≪前期課程≫大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標 ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。（R7:未調査） ・時間外勤務時間について、累計平均時間を25時間以下にする。（R7:25時間34分） ≪後期課程≫大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標 ・年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を60%以上にする。（R7:未調査） ・時間外勤務時間について、累計平均時間を40時間以下にする。（R7:40時間44分） ≪校内目標共通≫ ・大学等と連携し、教職員の資質向上のため外部講師を招き研修会を開く。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6、教育 DX の推進】 情報教育委員会 授業や学校生活において、児童・生徒が自主的に学習者用端末を活用する機会を設ける。 指標 MIM やマイクロステップスタディを使った学習を週 3 回以上実施する。 校内調査における「タブレットを使った授業はわかりやすいですか」について肯定的回答をする児童・生徒の割合を 85%以上にする。（R7:88%）	
取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 管理職 諸行事の見直し、会議の精選、その他教職員が時間内に業務を終えることができる環境づくりに努める。 指標 教育課程編成委員会等を活用し、行事の見直しや会議の精選について検討を行う。 前年度より定例の会議数を削減する。	
取組内容③【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 管理職 大学等と連携し、教職員の資質向上のため外部講師を招き研修会を開く。	

指標 外部講師を招聘した研修会を行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	